

ワクチン信者と「絶滅レベルの出来事」

Greatchain

2021/06/29

前提を考え直さない限り、どうしても理解できないことがある——。女性に多い、死を伴う出血や血栓症はひとまず別としよう。COVID-19 ワクチンによる、特に子どもに多い心臓の炎症（inflammation、心筋症？）については、米政府機関の CDC も FDA も、いよいよ隠せなくなり、これを認めざるを得なくなった。にもかかわらず、なぜわが国では、その注意を強く促す通知がないのだろうか？ 子供と大人の区別が、そうはっきりしているわけではなからう。

ワクチンの瓶にはどれでも、mRNA の文字がはっきり見えるから、日本とアメリカで別のものを使っているようでもない。しかし、これほど見事に、その死亡や大きな障害が、わが国では1つも起こっていないとすると、ある仮説を考えざるを得なくなる。それはプラセボ（プラシーボ、placebo）つまり偽薬である。私は怒っているのではない。むしろそうであればよいと思っている。プラセボの効果は一般に認められていて、この偽薬（塩水でもビタミン剤でもよい）によって、人々が現実に、コロナなど吹き飛ばせると信じ、経済が勢いづくなら、これほどめでたいことはない。もしそれを、日本政府が知った上で取り入れたのなら大ヒットである。

私の妻は 83 歳間近の高齢である（因みに私は 87 歳）。彼女は、周囲の人々がみなワクチン接種をするのに、自分だけ拒否するわけにいかないと言う。確かに周囲を見回して、誰にも、どこにも、問題が起こっていなければ、あえて拒否する理由がない。妻はかなりの故障持ちである。その意味からも、プラセボ仮説が真実であることを願いたい。

はっきり申し上げて、ある程度以上の年寄りはあまり問題ではない。ただ、このありがたい仮説が外れたときの、子どもたちが大変である。今のところ、少なくとも子供に対しては、ワクチンの有害性が歴然としている。これには、mRNA の発明者自身が特に注意を促している。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/210626.pdf>

プラセボ仮説が外れて、政府や新聞が有害性を知った上で、万一、ワクチン運動の年齢枠なしの強行突破が行われた場合、彼らは間違いなく大犯罪者となる。よく注意していただきたい。現在のバイデン政権や、それを取り巻く左翼民主党を観察していれば、彼らに人

命尊重の意志など、さらさないことがわかる。彼らは明らかに、自国民と戦うつもりでいる。もしわが国が、その勢いに乗せられたら、善悪の見境を見失うことになる。彼らは恬として、「子供の 1 ダースや 2 ダースが何の問題か！」と、言う者たちであることを覚えておかなくてはならない。

彼らが、たとえ日本人には敬意を表して、特別の計らいで、プラセボを使ったとしても、それは絶対に信用すべきものではない。なぜなら、彼らが世界制覇を目論むのは、日本にせよ、誰にせよ、憎いからではない。彼らは、この惑星や人間をはじめ、神から創造されたすべてを奪おうとしているのであって、特定の誰かが憎いからではない。彼らは、我々の想像の及ばない桁はずれのことを考えている。

今ここに、**The COVID-19 Extinction Level Event**（コロナ・ウィルスによる絶滅レベルの出来事）という SOTN（State of the Nation）という暗号で知られる人の貴重な論文がある。

世界がこの 2021 年に経験しつつあり、今後も続けて起こることは、人の手による**絶滅レベルの出来事**であり——それは国家的な役者、各国企業、NGO、秘密結社、NATO（別名、北大西洋テロリスト組織）のようなテロ組織の、ジェノサイド陰謀によって引き起こされる、現在進行中の、一連のバイオテロ活動である。

これら Covid パンデミック犯行者たちの仕掛けたものは、逆戻りできない「**絶滅レベルの出来事**」(ELE) であり、それは究極的に、惑星全体の文明を通じて、その道を辿るだろう。・・・

そこで、このような文章に注目したい。

RNA や DNA のもつ、Covid 注射の、現実を変える側面のために、これらの「ワクチン接種」は、元へ戻すことができない。したがって、これらワクチン注射を打たれた人々は、ELE に降服するか、それとも、彼らの世話をする者の、大きな厄介者になるほどに、無能力になるしかない。

ここで言っていることは、RNA や DNA 注射は、遺伝子を体の中に取り込むことだから、一度、組み込まれたら、人は自分を変えることができない、ということである。それは自分の身体・精神の両方について言える。「私はこんな人間でなかった」と言っても、取り返しがつかないということである。普通のワクチンならば、時間が経てば排出されて元の身体に戻るが、mRNA のような遺伝子は、全く働き方が違うということだ。

それは体の一部となって、今までの自分の能力を失うかもしれず、これまでなかった病気を発病するかもしれない。(これが、ファウチの専門である gain of function や loss of function の意味であろう。)これが身体能力なら、まだいいとして、脳に入った場合、それは人間性喪失となる可能性がある。「ゾンビ化」と、よく言われるのがそれで、おそらく多くの人は、「何を馬鹿なことを！」と、思っていたかもしれない。しかしそれは現実でありうる。

ここに、この世界がどうなるか、細心に操作された ELE の 5 大要素と言われるものを、あげておこう：――

- * COVID-19 生物兵器の開放と、頻繁にバイオ操作される変異種
- * ケムトレール・エアロゾルの組織的な散布を通じての、生物・化学兵器の発射
- * 5 G (および 4 G) エネルギー兵器の軍事展開
- * ハイブリッド生物兵器としての、年中インフル・ワクチン計画の統制
- * ステルス生物兵器としての、バイオ操作された COVID-19 ワクチンの注射

これはもちろん、この論文のほんの一部にすぎないが、これだけでも「彼ら」の地球と人間籠絡のアジェンダの、規模の大きさが、明瞭に見えてくる。日本人ほど与しやすい相手はいないであろう。この人たちは、遺伝子をワクチンだと言えば、そのままワクチンだと信じ、実験だと言っているのに、タカをくくってくれるので、これからも**楽に、ひそかな「人間操作実験」**を続けていけるだろう。